

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場取引所 大

上場会社名 松本油脂製薬株式会社
 コード番号 4365 URL <http://www.mtmtvs.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 木村 直樹
 (氏名) 山田 正幸

TEL 072-991-1001

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	20,785	0.3	1,681	71.5	1,853	86.6	1,166	206.7
24年3月期第3四半期	20,718	4.7	980	△4.7	993	18.1	380	△25.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,379百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 108百万円 (151.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	114.62	—
24年3月期第3四半期	37.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	47,433	38,925	81.7
24年3月期	46,140	38,054	82.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 38,731百万円 24年3月期 37,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,300	8.4	1,900	43.9	2,150	34.0	1,150	83.6	112.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	11,281,629 株	24年3月期	11,281,629 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,104,333 株	24年3月期	1,104,233 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	10,177,363 株	24年3月期3Q	10,178,188 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しておりますが、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原発事故による今夏の電力の供給不安を個人や産業界の節電対応で乗り越え、長期化していた円高は政権交代を機に円安へと舵を切りましたが、中国とは尖閣問題を抱え経済障害となっており、先行きは不透明感が拭えない状況であります。また、欧州の信用不安、景気停滞懸念、中東情勢の緊迫化で世界経済は不透明感を増しており、内需拡大を続けていた中国をはじめとする新興国にもその影響が見られ、世界経済は緩やかな減速が見受けられます。

当社グループの重要な販売分野である国内繊維産業におきましては、海外生産が更に拡大するなど、その影響を受けております。一方海外の繊維産業向けでは、深刻化する欧州の債務問題で中国の景気が減退し、アジア地域やその他の地域にも影響が波及しております。

非繊維分野におきましては、国内の自動車生産は震災の影響から順調に回復し、堅調に推移しておりますが、中国向けの部品生産は停滞しております。住宅関連は補修用材料の販売が好調に推移しております。一方海外では、米国、欧州の経済不況の影響を受け、中国をはじめとするアジア諸国も景気が減速しております。

このような状況下、当社グループでは、販売・利益を確保するため、競争力のある高品質・低価格商品の開発を行うとともに、市場ニーズに合致した商品の早期開発に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高20,785百万円（対前年同四半期比100.3%）、営業利益1,681百万円（対前年同四半期比171.5%）、経常利益1,853百万円（対前年同四半期比186.6%）、四半期純利益1,166百万円（対前年同四半期比306.7%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

日本における当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は20,331百万円（対前年同四半期比100.3%）、セグメント利益（営業利益）は1,608百万円（対前年同四半期比170.0%）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内合繊メーカー各社への販売が縮小され低調な結果となりました。海外への販売におきましては、中国合繊メーカー各社での生産調整による減産が継続、販売数量が低迷し、外部顧客に対する売上高は2,145百万円（対前年同四半期比97.5%）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では、炭素繊維は航空機向けは好調に推移しましたが、消費低迷と繊維製品の低価格化によりテキスタイル分野の加工量が減少しました。また、化学工業分野では洗浄剤原料の販売が増加しました。海外では工業用繊維分野、弾性繊維分野、高機能繊維分野は販売数量が増加しましたが、欧州向けの需要が低迷し、一部の衣料用分野の販売が低調となりました。その結果、外部顧客に対する売上高は11,937百万円（対前年同四半期比100.4%）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、繊維関連加工剤の加工量が減少し、販売が低調でした。化学工業分野では高騰する原料価格への対応として製品価格の是正に努めるとともに、洗浄剤原料の販売も増加し、外部顧客に対する売上高は756百万円（対前年同四半期比104.0%）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維関連では、織布向け製織用糊剤の販売は在庫過多による生産調整で減少しました。非繊維関連では、化粧品原料は堅調に推移しております。建材関係では住宅着工件数の低迷が続いておりますが、補修用途の拡大や自動車分野の回復で有機高分子製品の出荷が回復傾向となりました。一方、液晶分野の設備投資が低迷した影響により、設備投資関連資材の販売が減少しました。その結果、外部顧客に対する売上高は5,492百万円（対前年同四半期比100.6%）となりました。

② インドネシア

インドネシアにおける当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は453百万円（対前年同四半期比102.4%）、セグメント利益（営業利益）は49百万円（対前年同四半期比141.5%）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、特殊用途の小口の新規顧客獲得がありましたが、販売数量は前年を下回り、外部顧客に対する売上高は3百万円（対前年同四半期比99.9%）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、合繊の紡糸・紡績・コーニングオイル油剤や精練剤は堅調に推移しましたが、スパン用、フィラメント用平滑剤は既存ユーザーの使用量の低下で販売数量が若干減少しました。その結果、外部顧客に対する売上高は203百万円（対前年同四半期比99.9%）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに大きな進展は見られず、外部顧客に対する売上高は2百万円（対前年同四半期比99.9%）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、インドネシア国内のフィラメント織物は撚糸物が増加し、既存ユーザーの糊剤の使用量が減少しておりますが、新規ユーザーの開拓と新商品の拡販により販売数量は増加しております。また自動車、オートバイ用のタイヤ離型剤は、オートバイの販売数量が減少したことやタイヤの減産の影響を受け、販売数量が減少しました。その結果、外部顧客に対する売上高は244百万円（対前年同四半期比104.6%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という）比1,293百万円（2.8%）増加して、47,433百万円となりました。流動資産は前期末比1,435百万円（4.4%）増加の34,148百万円、固定資産は前期末比141百万円（1.1%）減少の13,285百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、有価証券が495百万円前期末より減少したものの、現金及び預金が1,082百万円、受取手形及び売掛金が834百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。

固定資産減少の主な要因は、投資有価証券が269百万円前期末より増加したものの、機械装置及び運搬具が174百万円、長期貸付金が151百万円、建物及び構築物が135百万円前期末よりそれぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比422百万円(5.2%)増加の8,508百万円となりました。流動負債は、前期末比407百万円(5.3%)増加の8,054百万円、固定負債は前期末比15百万円(3.5%)増加の453百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は、賞与引当金が128百万円前期末より減少したものの、買掛金が307百万円、未払法人税等が110百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。

固定負債増加の主な要因は、退職給付引当金が10百万円前期末より増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比870百万円(2.3%)増加して38,925百万円となりました。

純資産増加の主な要因は、利益剰余金が657百万円、その他有価証券評価差額金が214百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。この結果自己資本比率は、前期末の82.1%から81.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、経済情勢及び為替の動向も不透明でありますので、平成24年5月11日発表の数値を変更しておりません。なお今後、通期業績予想の修正を行う必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,447	18,530
受取手形及び売掛金	7,836	8,670
有価証券	2,494	1,998
商品及び製品	1,760	1,773
仕掛品	442	449
原材料及び貯蔵品	1,115	1,191
繰延税金資産	512	412
その他	1,108	1,125
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	32,713	34,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,319	6,349
減価償却累計額	△3,941	△4,106
建物及び構築物(純額)	2,378	2,243
機械装置及び運搬具	9,855	9,948
減価償却累計額	△8,209	△8,477
機械装置及び運搬具(純額)	1,645	1,471
土地	529	528
建設仮勘定	79	163
その他	1,491	1,503
減価償却累計額	△1,363	△1,375
その他(純額)	128	128
有形固定資産合計	4,761	4,534
無形固定資産		
その他	12	17
無形固定資産合計	12	17
投資その他の資産		
投資有価証券	7,679	7,948
長期貸付金	173	22
繰延税金資産	236	187
その他	568	578
貸倒引当金	△5	△3
投資その他の資産合計	8,652	8,732
固定資産合計	13,426	13,285
資産合計	46,140	47,433

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,545	5,853
短期借入金	700	700
未払法人税等	267	377
賞与引当金	268	139
その他	866	984
流動負債合計	7,647	8,054
固定負債		
退職給付引当金	251	262
資産除去債務	94	96
その他	91	94
固定負債合計	438	453
負債合計	8,085	8,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,517	6,517
利益剰余金	27,684	28,342
自己株式	△1,746	△1,746
株主資本合計	38,546	39,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△447	△233
為替換算調整勘定	△217	△238
その他の包括利益累計額合計	△664	△472
少数株主持分	173	193
純資産合計	38,054	38,925
負債純資産合計	46,140	47,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	20,718	20,785
売上原価	16,847	16,216
売上総利益	3,870	4,568
販売費及び一般管理費	2,890	2,887
営業利益	980	1,681
営業外収益		
受取利息	44	29
受取配当金	51	52
持分法による投資利益	45	48
為替差益	—	246
その他	106	126
営業外収益合計	248	503
営業外費用		
支払利息	6	4
投資事業組合運用損	167	317
為替差損	55	—
その他	6	9
営業外費用合計	235	331
経常利益	993	1,853
特別利益		
関係会社株式売却益	—	12
特別利益合計	—	12
特別損失		
固定資産除却損	2	8
投資有価証券評価損	295	68
ゴルフ会員権評価損	2	—
特別損失合計	300	76
税金等調整前四半期純利益	693	1,789
法人税、住民税及び事業税	178	566
法人税等調整額	117	24
法人税等合計	296	591
少数株主損益調整前四半期純利益	396	1,197
少数株主利益	16	31
四半期純利益	380	1,166

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	396	1,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△268	215
為替換算調整勘定	△16	△21
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△12
その他の包括利益合計	△288	181
四半期包括利益	108	1,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100	1,359
少数株主に係る四半期包括利益	7	20

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	20,274	443	20,718
セグメント間の内部売上高 又は振替高	176	41	218
計	20,451	485	20,936
セグメント利益	946	35	981

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	981
セグメント間取引消去	6
棚卸資産の調整額	△6
四半期連結損益計算書の営業利益	980

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	20,331	453	20,785
セグメント間の内部売上高 又は振替高	155	32	187
計	20,487	485	20,972
セグメント利益	1,608	49	1,658

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,658
セグメント間取引消去	10
棚卸資産の調整額	12
四半期連結損益計算書の営業利益	1,681

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(自己株式の取得)

当社は、平成25年1月22日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、下記のとおり取得しました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするため

2. 取得した株式の種類

当社普通株式

3. 取得した株式の総数

1,006,500株

4. 取得価額の総額

1,851,960,000円

5. 取得日

平成25年1月23日

6. 取得の方法

大阪証券取引所のJ-NET市場における買付け